

田舎モダン



開成町

kaisei town

議会だより



さくらに見守られ、新年度スタート！

3月定例会議

No. 187

平成29年5月15日発行
神奈川県足柄上郡
開成町議会

- 平成 28 年度議会報告会意見交換会 2～3
- 3月定例会議で予算審議 4～10
- 町政を問う！一般質問に 10 議員が登壇 11～16
- 委員会レポート 17～19

町民の皆さまと問題意識の共有！ 「議会報告会・意見交換会」開催

議会では、議会活動を知っていただくとともに、より多くの皆さまのご意見を広く聴く機会を設けるため、「議会報告会・意見交換会」を町内5会場で開催し、105名の方に参加いただきました。

「議会報告」では、各常任委員会の活動報告を行い、「意見交換」では、各地域の現状や課題等について、質疑やご意見をいただきました。各会場での意見やご要望の一部をご紹介します。

開催日と会場

1月21日(土) 宮台老人憩の家
1月28日(土) 岡野老人憩の家
1月30日(月) 上島公民館
2月4日(土) 河原町公会堂
2月8日(水) 町民センター大会議室



宮台老人憩の家 〇足柄産業集積ビレッジ構想の現状は。

どの程度議会で審議をしているのか。なぜ商業地域ではなく、工業地域なのか。農地と宅地では考え方がまったく違うので強制的に移転してほしいというのが一番困る。町のために協力しないといけないのは分かってるが、議会から町に報告を促してもらい、もう少し議会でも話題に挙げてほしい。



会場での意見交換の様子

岡野老人憩の家

〇岡野は農業振興地域であるので、住宅建築ができない。
この10年ぐらいの間でコミュニティが維持できないのではないかと危惧している。

〇怒田開成小田原線の延滞方面へ行く道路が狭い。

北部に力を入れるのであれば、道路の拡幅と、南足柄へ行く道路も広げてほしい。

〇瀬戸屋敷周辺にスーパーがあると良い。

中井町も出店を依頼した経緯がある。岡野地区にも食料を購入できるお店がほしい。

〇怒田開成小田原線の岡野地区に歩道がない道路がある。

小学生が通学していて危ないと感じているので検討していただきたい。

上島公民館

〇十文字橋から吉田島高校前までの道路が狭く、大変危険である。

先生たちが指導しているが、旧四ツ角から小学校までは一方通行なので一方通行を延長してもらいたい。

〇自治会役員の選出に苦勞している。

自治会は開成町にとって大変重要なので、議会としても案を出して町に進言してほしい。

〇子ども会が低調している。
町を活性化させるためには大切な会なので加入拡大に向けて議会に動いてほしい。

〇水路の整備をしてほしい。

水辺スポーツ公園に向かう水路と中家村に向かう水路に土が溜まってしまい、詰まっている。そこに小魚が増え、サギの餌場となり大変迷惑している。

河原町公会堂

〇自治会での不燃物の当番が問題となっている。

ゴミ当番が高齢者では大変である。開成町に住むなら自治会に入らなければならないという特例は作れないものか。

〇町はどの程度マイナバーカードを必要としているのか。

各自治会に回って写真撮影や記載指導をすれば普及するのでは。

〇議員定数を増やしてもいいのでは。

議員は町民の代表だが、上島や河原町には議員がいないので、この地区の意見が反映されていない。



各会場で活発な議論が交わされました

町民センター

〇ゴミ問題はこういう認識なのか。

議員から行政に対して、ゴミ処理、ゴミの減量の質問がないが議員の中ではどういう認識か。

〇町は子育て世代の意見をどのように吸いあげているのか。

新しい保育園の開設など、どのようにアンテナを張れば情報を得られるのか。

〇共働きの家庭には学童保育が必要である。

南足柄市は学校内に学童保育があるが、開成町は民間に補助金を出してやっている。子育て支援策としてこれで良いのか。

〇農業従事者が高齢化し、跡継ぎの問題で大変苦労しており、田畑を手放す人が多い。

JAとの懇談会を行ったそうだが、そこで議員は何を感じたのか。

共通の要望・課題

〇新庁舎建設に対する疑問

・新庁舎建設でプールがなくなってしまう。なぜダイトモの跡地に建設しないのか。

・新庁舎建設の金額は24億5千万円を上回らないように目を光らせてほしい。これから先、若者の負担にならないようにしてもらいたい。

〇小田原市と南足柄市が合併したらどうなるのか。

・開成町としてどのようなメリットやデメリットがあるのか。勉強会などを開催し、その結果を議会だよりに掲載してほしい。

〇小児医療費拡充は。

・開成町は小学6年生までとなっている。他市町村の動向も踏まえて、子育て世代の意見を聴きながら拡充に努めてほしい。

〇町民プールはどうなるのか。

・プールの問題を議会としてはどう考えているのか。開成南小にはプールがあり、開成小にはプールがない。この教育の格差をどう埋めるのか。

多くのご意見、ご要望をお聴きし、町民の皆様が感じている課題や問題意識を共有することができました。

このたびの議会報告会・意見交換会を踏まえて、今後の議会活動に反映していきます。

各会場での発言の要旨や議会の回答についてはホームページに掲載しております (<http://www.town.kaisei.kanagawa.jp>)。是非ご覧ください。



母子保健事業費

2,176万
8千円

妊娠期から子育てまでの切れ目のない支援を提供するため、妊娠・出産・子育てのワンストップ相談窓口「母子健康包括支援センター」を保健センター内に開設します。

平成29年度当初予算 ここに



平成29年度当初予算の中で、議会が注目した主な事業を紹介します。



地域防犯力向上事業費

837万
7千円

犯罪防止のために都市計画道路山北開成小田原線の防犯灯未設置区間及びあじさい農道に、LED防犯灯を設置し、犯罪防止に努めます。



庁舎整備事業費

2億
661万円

平成31年7月の竣工を目指して新庁舎整備を進めます。また、来庁者及び職員等にとって、快適で機能的なオフィス環境を整備し、町民サービスと事務効率の向上につなげるための調査等を実施します。



地域福祉推進事業費

4,200万
1千円

町内巡回バスが試行運転を終え本格運行となり、寄附を受けて購入したワゴン車を活用し、2台による運行体制にします。



あしがい郷瀬戸屋敷 維持管理事業費

2,887万
8千円

北部地域活性化の拠点施設である「あしがい郷瀬戸屋敷」に指定管理者制度を導入し、民間事業者のノウハウを生かした更なる観光の振興と施設利用促進を図ります。

3月 定例会議

平成29年開成町議会3月定例会議を3月7日から17日まで開催し、条例や人事案件をはじめ、一般会計及び特別会計予算案や補正予算案などを審議しました。

また、議長を除く全議員の構成による予算特別委員会を3日間開催し、7会計にわたり平成29年度予算案について審議を行いました。

日程

- 第1日目（7日）一般質問（6人・9項目）
- 第2日目（8日）一般質問（4人・5項目）、人事、条例一部改正
- 第3日目（9日）一般会計補正予算、特別会計補正予算、一般会計予算（説明）
- 第4日目（10日）特別会計予算（説明）
- 第5日目（14日）一般会計予算（質疑）、特別会計予算（質疑）

予算特別委員会

- 第1日目（14日）一般会計予算（質疑）
- 第2日目（15日）一般会計予算（質疑）
- 第3日目（16日）特別会計予算（質疑）、一般会計予算（討論・採決）、特別会計予算（討論・採決）
- 第6日目（17日）一般会計予算（討論・採決）、特別会計予算（討論・採決）、委員会報告 他

「さらなるジャンプアップ・未来づくり予算」 平成29年度一般会計予算 **51億6,000万円**

町長から平成29年度予算の趣旨説明を受けました。
予算特別委員会で審議し可決した主な事業は5ページ、
質疑の内容は6ページから7ページに掲載しております。

平成29年度会計別予算額

【単位：千円】

会 計 名		本年度予算額	前年度予算額	比 較
一 般 会 計		5,160,000	5,035,655	124,345
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険 特 別 会 計	1,799,742	1,807,524	△ 7,782
	下 水 道 事 業 特 別 会 計	594,600	615,652	△ 21,052
	介 護 保 険 事 業 特 別 会 計	1,035,196	996,373	38,823
	給 食 事 業 特 別 会 計	88,555	88,551	4
	後期高齢者医療事業特別会計	202,324	195,269	7,055
水道事業会計		452,758	415,511	37,247
総 額		9,333,175	9,154,535	178,640

質 疑



平成29年度 予算審議

平成29年度の一般会計及び各特別会計、企業会計については、3月定例会議と予算特別委員会において審議を行いました。審議は町政の全般にわたり、数多くの質疑がありました。その中のいくつかをご紹介します。

庁舎整備事業費

庁舎建設による町の未来は

問 今後の町のことを考えると、できるだけ費用を抑えてほしい。これから町の将来を考える中で、今、計画している庁舎でなければいけないという理由はどこにあるのか。

答 役場庁舎の建設には、特別委員会の中で説明させていた。昨年、まちづくり町民集会でも全地域を回らせていただいた。役場庁舎の必要性も含めて、将来に負担を残さないというコミュニケーションを説明させていた。大方の賛成をいただいたと思っている。

庁舎整備を進めるにあたって、6年前から議会より提案を受けて庁内計画、総合計画、防災計画の中でも位置づけをし、手順を踏んできた。認識をしている。できるだけ早く計画どおり役場庁舎をつくることによって、北部、中部、南部の結節点としての庁舎整備を進めていく。



現在の役場庁舎

ブランディング戦略推進事業費

今年度のブランディング戦略は

問 平成27年に町制施行60周年ということで、その前後を中心に3年間を一つの目安として、ブランディングが大きく打ち出された経緯があるが、平成29年度の取り組みは。

答 これまでブランディングに取り組んできた経験を踏まえて、今後は町の魅力の発信をさらに磨きをかけて定住促進を進めていく。



あじさいちゃんグッズ

産業集積促進事業費

足柄産業集積ビレッジ構想の今後は

問 現在、南足柄市は小田原市との合併に向けて協議中である。このような状況の中、この事業に関しては、町民はかなりの不安を抱えているような現状があるが。

答 南足柄市との調整に関しては、南足柄市側と開成町のあり方について重ねて確認をしている。南足柄市としては小田原市との協議の内容、結果にかかわらず、これは南足柄市の重点事業として、継続的に取り上げていく方向性を持っているので、町としても、積極的に南足柄市とともに進めていきたい。

保育所充実事業費

町の待機児童は解消されるのか

問 昨年の10月に待機児童が12名という報告を受けた。新しい民間保育園の開設により解消されるのではないのかと思うが、平成29年度については、どのような計画があるのか。

答 平成27年度から待機児童が継続して発生している状況であった。この状況を改善することと、さらに定住促進という観点から、新しい民間保育園の開設について支援をさせていただいた。結果として、

待機児童はゼロの見込みとなっている。また、年度途中にも、年間20人から30人位のお子様が入園する見込みである。そのような状況となっても、定員の1.2倍という許容の中で全て受け入れるという姿勢を持って進めていく。



コミュニティ活動強化事業費

自治会への支援は

問 事業費として250万円計上されており、町内の4自治会に備品の整備をするとのことだが、内容はどのようなものか。

答 全13自治会のうち、順番に自治会へ配分している。自治会で希望を挙げてもらい、コピー機や阿波踊りの浴衣などを整備している。

あしがり郷瀬戸屋敷維持管理事業費

北部地域活性化の施策展開は

問 あしがり郷瀬戸屋敷の指定管理料として多くの費用が投入されているが、北部地域や瀬戸屋敷の活性化につながる見通しがあるのか。

答 瀬戸屋敷は開館当初、7万人近くの来館者がいた。委託する3年間で活性化



地域防犯力向上事業費

防犯灯による光害対策は

問 あじさい農道にLED防犯灯を設置するということが、植物などの光害の影響が出るような話も聞いている。町の考えや農家との調整をされたのか。

答 防犯灯等のライトによる光害、稲の生育が良くなったとか、伸び過ぎてしまつて困る



消防団等活動推進事業費

消防団協議会設置の目的は

問 新規事業として消防団協議会を設立する目的は。

答 消防団協議会は、地域における消防防災体制の充実強化のため、消防団、自治会、町事業所、そして、消防友の会など、関係機関が町と連携し、地域防災



平成 29 年度一般会計予算討論

石田議員 賛成討論

まず子育て環境の充実について妊娠・出産・子育てのワンストップ相談の窓口を設置することは評価するが、小児医療費助成の中学生までの拡充を見送ったことは誠に遺憾である。4月以降足柄上地域1市5町のなかで開成町だけが小学6年生までとなるのは、子育て世代の定住促進の観点から好ましくないからである。よって次年度（平成30年度）一般会計予算には中学生までの拡充を盛り込むことを強く要望する。

次に役場新庁舎の建設着手について、町長は町民集会を通じて町民の理解は大方得られたと答弁されたが、建替えの必要性について一定の理解は得られたとは考えるが、庁舎単体の建設工事費用だけで24億5千万円、坪単価にすれば約200万円の税金を投じることについて町民の理解が大方得られたとは到底思えない。また、建設場所について現町民プールを解体してその跡地を活用するというが、開成小学校の児童や酒田保育園の子ども達、

長年プールを愛用してきた町民が使用できなくなり影響が大きすぎる。

よって、庁舎建て替えについて反対はしないが、現在の設計案で進めることについては断固反対する。むしろ将来の合併をも想定して議場を町民センター3階に簡易的に設計し、役場庁舎自体は簡素でシンプルな建物とし建設費用を最小限に抑えたと共に、建設場所を旧ダイトモ跡地に変更することを提案する。また、町民プールの解体については開成小学校内にプールが建設されるまで保留とすることを強く要望する。

以上、本来であれば一般会計予算案について反対すべきところであるが、感震ブレーカー設置を助成する補助金制度の創設・宮台老人憩いの家のトイレ改修工事費用など、町民の安心・安全の暮らしを守る費用が盛り込まれているため、誠に苦渋の決断ではあるがやむを得ず賛成する。

和田議員 賛成討論

日銀の月例経済報告を見ても地域的まだら模様があるにしても日本経済全体でみると緩やかな回復基調にあるものと思える。

開成町においても「開成町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の具現化を図り、人や企業、地域団体などの活動をさらに活性化させ、まちづくりの好循環をなお一層創出する必要があると町長の強い決意が示されている。

開成町第五次総合計画の着実な実行は町民すべてが望むものとする。

200におよぶ広範な事業に目配りした平成29年度予算編成に苦心の跡が随所に見られる。

一般会計予算の総額は、51億6,000万円で、

前年度に比べ、2.5%、1億2,434万5千円の増となり歳入では町税が8,014万1千円増の27億7,949万円で、対前年度伸び率3.0%となり歳入総額の53.9%を占めている。

そのなかで町債の発行も財務の健全性維持を十分意識したものとなっている。

平成29年度は、総合計画の第2期実施計画の2年目となり、後期基本計画を見据えて、中長期的な視点に立ち計画的な行財政運営を行うとともに、子育て環境の充実や、北部地域の活性化、町と町民が協働して、町の魅力をさらに高める「さらなるジャンプアップ・未来づくり予算」としているが総合的にみて手堅い予算編成と考え賛成討論とする。

平成 29 年度予算特別委員会報告

本特別委員会に付託された7議案について、平成29年3月14日、15日及び16日に各議案に対する詳細質疑を行い、平成29年3月16日に委員会として採決を行いました。

なお、平成29年度予算の執行及び事業の実施にあたっては、次の事項について、特に留意されるべきであるとの意見が出されましたので報告いたします。

(1) ブランディング戦略推進事業

町制施行60周年を契機にスタートしたブランディング戦略においては、3年間の取り組みを踏まえ、新たな商品開発や販売促進等の拡大を図り、更なる町の魅力アップを発信することにより県西地域以外からの定住促進を推進されたい。



(3) あしがり郷瀬戸屋敷維持管理事業

北部振興の観光拠点施設である、あしがり郷瀬戸屋敷の指定管理にあたっては、指定管理者からの提案事業であるPR事業や実証実験を通じて、施設の充実及び交流人口の拡大を図り、北部地域全体の活力向上を推進されたい。



他にも、報告書をまとめるにあたり委員間討議の中で、平成29年度から3か年の継続で整備を進める庁舎整備は、多額の予算投入となるため、事業実施については新庁舎に関する調査特別委員会での中間報告の

(2) 小児医療費助成事業

将来を担う子どもたちの健やかな成長を図るための大切な施策の一つである小児医療費助成制度については、全国統一基準で運用されるよう国や県に対して引き続き強く要望するとともに、定住促進に寄与する視点からも重要施策として位置づけられるため、近隣市町の動向を踏まえ通院分の助成対象拡充に向けた検討を進められたい。



(4) 減災対策事業

地震発生時の通電火災を防止する「感震ブレーカー設置推進事業」について、自治会に補助金を交付する際には、災害時における共助の観点からも感震ブレーカーの普及促進だけでなく、自治会加入促進も含めた補助金交付のあり方について検討されたい。



提言を真摯に受け止め、議会をはじめ町民にも進捗状況等、丁寧な説明・周知を要望する意見が出されました。

平成29年度予算特別委員会委員長
菊川 敬人



※ 一般質問：議員が町の行政について質疑し、町側に答弁を求めるものです。

※ 質問者本人の原稿を、広報分科会委員が議事録に基づき校正しています。



山田 貴弘 議員

問 道路拡幅ができるまでの間でもできることがある。

答 早期の用地取得が困難な箇所がある場合には、当該箇所の課題解決に努めながら一連区間ではない箇所についても着手を図り、当該道路の安全性向上に取り組む。

問 道路拡幅の計画がある町道について、交差点間を区間とした工事着手ではなく、部分着手により人の安全を確保するための回避所の確保を。

答 総括的な反省として、信号機を設置をはじめ、十分に準備できていなかった部分があると言わざるを得ない。今後とも開成町の交通安全対策を向上させるため、警察署など関係機関に対しての要望、要請や交通安全啓発活動など、様々な活動にしっかりと取り組んでいきたい。

問 全国では、高齢運転者による事故が多発するなど、交通情勢の不安解消に至っていないのが現状だが。

答 総括的な反省として、信号機の設定をはじめ、十分に準備できていなかった部分があると言わざるを得ない。

歩行者の安全対策に不安を感じる



町道 235 号線の道幅が狭い区間

問 道路状況に変化がうかがえる。時間を制限した指定方向外進行禁止や進入禁止等、地域住民を巻き込んだ中で交通規制の検討を。

答 地域の交通課題を研究、検討し、交通規制の方法などについて地域が主体となつて課題解決に向けて解決策を導き出していくことは有効である。

問 交通安全を推進していくという観点で、地域住民の皆様、警察等関係機関と協働して、より安全な交通環境の整備を図っていきたい。

答 提案をできるだけ導入しながら、子どもたちの交通安全、通学路の安全確保に向けて行っていきたい。

人事

○人権擁護委員候補者の推薦
・辻村 進 氏（吉田島）
人権擁護委員のうち1名の任期が平成29年6月30日をもって満了となるため、その後任者を法務大臣へ推薦したいとの提案があり、全員異議なしで議決。

可決した主な条例

○開成町非常勤職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正
地域別最低賃金の改定に伴い、徴収嘱託員の報酬のうち時間額を引き上げるため改正。
〈全員賛成〉
○開成町職員の給与に関する条例の一部改正
人事院勧告及び神奈川県人事委員会の給与等に関する勧告に伴い、職員の配偶者に係る扶養手当の額等の規定を整備する必要があるため改正。
〈全員賛成〉

平成 29 年開成町議会 3 月定例会議議案審議結果

提出	議決日	議 案 名	審 議 結 果	佐々木昇	山田貴弘	湯川洋治	前田せつよ	石田史行	吉田敏郎	下山千津子	和田繁雄	井上三史	星野洋一	菊川敬人
	3 / 8	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	異議なしとして議決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		開成町非常勤職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例を制定することについて	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		開成町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例を制定することについて	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		開成町職員の育児休業等に関する条例及び開成町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例を制定することについて	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		開成町介護保険条例の一部を改正する条例を制定することについて	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	3 / 9	平成 28 年度開成町一般会計補正予算（第 7 号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		平成 28 年度開成町国民健康保険特別会計補正予算（第 4 号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		平成 28 年度開成町下水道事業特別会計補正予算（第 3 号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		平成 28 年度開成町介護保険事業特別会計補正予算（第 3 号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		平成 28 年度開成町後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第 2 号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		平成 28 年度開成町水道事業会計補正予算（第 2 号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
町長	3 / 17	平成 29 年度開成町一般会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		平成 29 年度開成町国民健康保険特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		平成 29 年度開成町下水道事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		平成 29 年度開成町介護保険事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		平成 29 年度開成町給食事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		平成 29 年度開成町後期高齢者医療事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		平成 29 年度開成町水道事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

★茅沼隆文議長は採決に加わらない。 ○は賛成した者 ●は賛成しなかった者 「除」は除斥 「欠」は欠席

自転車・歩行者の交通安全の取り組みと 自転車走行指導帯の設置を



吉田 敏郎 議員

本町は、平成32年度までの5年間を第10次開成町交通安全計画と定めている。

問 新たに実施した交通安全対策は。

答 山北開成小田原線と町道235号線交差点への信号機設置要望書を松田警察署に提出した。

問 自転車走行のルール、マナーを守る、というシールを後輪のフレームに貼ることはいかがか。

答 自身が交通ルールを守らなくてはいけないという認識が芽生える。見ている方にも大切なことであり、検討、研究していきたい。

問 設置可能なところから随時、自転車走行指導帯を設けることを提案する。

答 本町の交通状況をしっかりと踏まえて、総合的に検討するような形になる。

働き方改革の一環としてのテレワーク推進、その環境整備に資するオフィス改革を

問 これからのオフィス改革をどのように考えているか。

答 国や県と違い、職員の業務は町民への直接の対応が基本、テレワークを実施できる部署は限定され、クリアすべき課題は多い。ワーク・ライフ・バランスは、本年度から、介護休暇を分割して取得できることや、介護期間制度を設ける予定であり、仕事と家庭の両立の為に側面支援を行っている。さらなる電子化、IT化への取り組みが重要であり、職員が効率的に安心して働ける職場環境の整備を検討していく。

問 職員の業務量調査を再度しては。

答 平成29年度は、外部委託等せず、定員適正化計画の見直しを実施し、適正な職員数を検討していきたい。

問 プレミアムフライデーを、開成町が率先して行っていくことも必要と考えるが。

答 働き方の見直しという観点からも、検討していきたい。



開成駅東口施設「ぷらっと・かいせい」の活用状況は

ついで引き続き促していく。

開成駅前通り線の進捗状況は

問 開成駅前通り線は平成31年度土地区画整理事業認可を目標に事業を計画することだが、どの程度進んでいるのか。

答 平成28年度事業の進捗状況は、現況測量及び意向調査の範囲4分の地権者87名を対象とし、測量作業・建物調査及び意向調査の内容、今後の予定について説明を行った。

問 地元説明会の予定は。

答 現況測量意向調査の結果がまとまり次第、来年度早いうちに説明会を開催する予定。来年度は、区画整理事業の実施に向け区画道路や公園等の公共施設の計画・設計の概要、事業施行期間、資金計画等を定める「事業計画」の作成を実施していく。



湯川 洋治 議員



開成駅東口施設「ぷらっと・かいせい」

公園利用の促進と整備について問う



佐々木 昇 議員

開成町には、大小46カ所の公園施設がある。時代の変化とともに、町民が公園に求めるニーズや満足度も変化してきている。多角的な観点から公園利用の現状と将来の公園のあり方について問う。

問 各公園への時計とトイレの設置の考えは。

答 この3月に開成町商工振興会様及び松田ライオンズクラブ様から時計が贈呈され、駅前第2公園に時計が設置される予定である。時計については、現在、町が便益施設として既存公園に設置する計画はなく、このような協働の取り組みの中で設置されることは歓迎したいと考えている。トイレについても、新たに設置する計画はないが、今後の公園利用者の推移やトイレ需要などを踏まえ必要性を検証し、設置及び改修の計画を検討していきたいと考える。

問 トイレに関して、近隣の施設等を利用させてもらう考えは。

答 民間の施設のトイレを借りるとい

うことは大変有効な手段であると認識している。今後、積極的に取り組んでいきたい。

問 南部地区にできた五つの公園に日陰がないと意見を聞いた。パーゴラはあるが、せめて1カ所ぐらい常時日陰になるような場所を設置しては。

答 五つの公園については、供用したばかりで、パーゴラの樹木の成長がおりついておらず、日影がでないということがある。しばらく成長を待っていただきたい。

問 町民の意見、要望をどの様に吸い上げていくのか。

答 日常の維持管理に係る取り組みに関しては、町民の皆様の御意見を聞いたうえで反映していく考えである。今後、新たな公園整備については、検討委員会を設けて検討していきたい。



南部地区にある中川原公園

子育て支援の充実を問う

子育て世代の定住促進や合計特殊出生率の引き上げを目指し、子育て支援充実の一環として小児医療費の助成拡大に踏み込む自治体が一層増えている。

問 小児医療費助成のさらなる拡充の考えは。

答 子どもの医療費を助成し、子育て世帯の経済的負担を軽減することで子育て支援をしていくことは必要な施策の一つである。今後の医療費実績の動向を見ながら対応を検討する。

問 助成対象を中学生まで拡充する場合、概算として一般財源がさらにどの程度必要か。

答 現行の所得制限の条件をそのままとする場合、一般財源として年間約800万円が必要になる。

問 子育て環境日本一を目指して保育料や幼稚園料を無償化してはどうか。仮に無償化をした場合、概算でどれだけの一般財源が年間必要となるか。

答 幼稚園、保育園の保育料は所得階



石田 史行 議員



町民センター図書室の閲覧スペース

層に応じた負担となっており、受益者負担の原則から保育料の無償化は考えていない。保育料相当分として年間約1億2,300万円が必要となる。

問 新年度予算にふるさと納税が1億2,000万円見込まれている。保育料無償化の財源として活用してはどうか。

答 ふるさと応援寄付金は臨時的なものであり恒常的な経費の財源に充てるのは難しい。

町民センターの活用を問う

問 町内に2店舗あるスーパー内で勉強している子どもが多い。学習室の設置について活用の素案を検討する中で考えられないか。

答 この図書館も大体学習室があるので、現在蔵書を置いてある部屋（図書保管室）を学習室にして閲覧室と別にできないか、静かなところで学習をするスペースとして作れないか検討したい。

町の未来に向けて時計の針をどのように動かそうとしているのかを問う



和田 繁雄 議員

小田原市・南足柄市の「中心市のある方」に関する任意協議会の背景を考えると、大きな示唆を与えてくれるものと言える。自治体運営の前提が崩れたとき、どのような事態になるのか想像するにたたくない。近隣の他町も、明日をつくるために懸命に努力をしている。

第五次総合計画が時代の要請に応えるのか再検討すべきと考える。時計の針を動かさなければならぬ。

問 第五次総合計画実行上の課題を詳細に検討し、町のビジョンを再構築する考えは。

答 現計画期間内において町のビジョンである基本構想を再構築することについては考えていない。実施計画については、町民ニーズや社会情勢の変化に対応するため、進捗管理にあわせて適宜見直しを図っている。今後も、これまで以上に町民の声に耳を傾けている。

問 事業の具体的ゴールと工程表の作

成及び年度ごとの進捗を町民参加でモニタリングをする考えは。

答 第2期実施計画は、200事業で構成をし、各事業内容と事業スケジュールを明示している。事業の進捗管理については、毎年、進捗状況の確認や課題の抽出、予算の執行状況、翌年度以降の事業計画等の取り組みの考え方についてヒアリングを実施し、PDCAサイクルの徹底を図っている。

問 財務の将来図は（臨時財政対策債をどう認識しているか）。

答 安定的な税収の確保に長期的な視野に立つて展開しており、国や県からの依存財源だけでなく自主財源の確保に努めている。

国に対して臨時財政対策債を廃止し本来の姿である地方交付税へ還元するよう、引き続き粘り強く求めていく。



第五次開成町総合計画

新入学を前に通学路の安全（交通・防犯）対策について

4月から通学に慣れない新入学の児童生徒たちが学校に通い始める。交通事故件数は5月から7月が最も多い。安全の確保は通学路の歩道整備が重要だ。不審者から児童・生徒を守る等の防犯対策の強化が保護者の願いである。

問 通学路で発生した事件・事故の状況、その防止策は。

答 事故は平成28年9月・10月に2件、事件は平成27年5・7月に「つきまとい・声かけ、暴言」の2事案があった。対策は、警察への通報、教職員、教育委員会での見回り等の実施を行う。

問 登下校時の通学路を対象とした防犯カメラの設置計画は。

答 平成27年度から防犯カメラの導入を本格的に開始した。不特定多数の人が集まる公園や駅前ロータリー等を重点に計画的に設置していく。通学路のみを対象とした防犯カメラ設置は今のところ考えてない。

問 事件は2案件という話だが平成28



星野 洋一 議員



年10月女子児童数名が見知らぬ男に追いかけられたという事例もある。子どもに限らなければ、わいせつ事件はかなり起こっており、開成町でも平成28年度の事案が10件ある。どのような対処を考えているか。

答 松田警察署から不審者情報等の連絡があり、ホームページ、安心ベル等で周知を行うという形をとっている。

問 あじさい農道舞台棟は、過去、浮浪者が住み着いた経緯があり、中学生が部活を終えてここを通ることに、大変危険を感じている。松田警察署管内のわいせつ事案は平成28年には29件もある。抑止力という考えからすれば、防犯カメラは必要ではないか。

答 優先順位があると思う。いろいろ検討して、考えていきたいと思う。

子どもの生命を守るために防災訓練の充実と防災ヘルメットの支給を



前田 せつよ 議員

3・11東日本大震災から満6年、なお、その教訓から学ぶべきことは多岐に渡っている。

問 幼稚園から高校生くらいまでが、成長にあわせて使用可能な折りたたみ式の防災ヘルメットが市販されている。町として取り入れては。

現在の防災頭巾では、落下物から衝撃を吸収し、ガラスなどの鋭利なものから頭を保護することは不可能と保護者から指摘が寄せられているが。

答 総合的に見て、防災頭巾は平常時も活用できるので、現状と同じく保護者負担でと考えている。

問 横浜市、近隣の町では、ヘルメットは市・町が支給し、防災頭巾は保護者が買い求めている状況にある。二重の形も必要ではないか。

答 確かに両方兼ね備えれば良いと言うのは分かる。町の予算でどうするか、近隣も含めて調査し考えたいと思う。

子どもの医療費支援の推進を

問 小児医療費助成制度を中学生までに拡大は、幅広い世代からの切実な願いであり、特に、この施策の先送りは、定住促進に逆行するとの声が多く聞かれるが。

答 今後の医療費実績の動向を見ながら対応を検討していきたいと考える。

問 難聴児の軽度・中等度の支援について、国・県の動向が平成29年度から変わるが、町はどのような体制をとるのか。

答 聴覚レベルは高度・重度・軽度・中等度の4段階に分かれている。高度・重度に関しては、障がい者手帳が交付され、障がい者総合支援法に基づき補聴器が支給される。町は、軽度・中等度については、助成がなかった。軽度・中等度の難聴児に対して、早期から適切な補聴を行うことで、言語の発達や学力習得に有効と結論を出し、県と同様に助成したいと考えている。



開成町の現状と将来像を問う

開成町は若年層の人口の地域間格差が拡大しており、平成29年4月の入学予定者は、開成小学校が2クラスで開成南小学校は4クラスである。町全体に子どもを産み育てる支援策を充実させて若い世代の定着を図り、地域間格差の是正の為に、開成小学校学区内に教育環境の充実や若い世代の定住促進策を展開すべきである。

問 子育て環境の充実に向けた現状と将来像は。

答 開成町駅前子育て支援センターの開設や保育所待機児童ゼロのため民間保育所の開設支援、プレイパーク事業等を進める。新規では、母子健康包括支援センターの開設等を図っていく予定。

問 開成小学校プールの早期建設は、教育環境の南北格差の柱と考えるが。

答 教育環境に格差があるとは考えていない。平成29年度の開成小のプール授業は、南足柄市の協力で市体育センター温水プールを借用して実施予定。



下山 千津子 議員



県立足柄上病院

開成小のPTA、保護者への説明にも努め一定の理解をいただいている。

問 北部、中部地域に若い世代が興味を示す定住促進の具体策は。

答 子育て世代を主なターゲットとした定住プロモーションの展開やSNS等を活用した情報発信、子ども向けイベントの開催、町内で働く若者の定住・結婚支援等に取り組んでいく。

問 県立足柄上病院の産科体制を復活させて子どもを産む環境の充実が喫緊の課題と考えるが。

答 町だけの問題でなく、少子高齢化が顕著であるこの地域全体の安全・安心の確保や活性化を図っていく上で大きな課題と認識をしている。既に1市5町の首長間の協議事項の1つで足柄上病院医療体制の充実強化を平成29年度の県要望で行っている。

委員会レポート

平成 29 年 3 月定例会議において、次のとおり常任委員会の活動報告を行いました。

総務経済常任委員会所管事務調査報告(抜粋)

農業及び商工業の振興について

1. 調査の目的

開成町の現在の人口は約 1 万 7 千人で、今後とも人口は増え続け、平成 34 年度には人口推計から 1 万 9,300 人程度になると推定されている。

農業及び商工業の分野においては、従事者の高齢化や後継者不足などにより、その将来性が危惧される大変厳しい状況となっている。そのため、農業及び商工業の実態について調査し将来に向けての課題点、整理等を行い改善策や振興策について検討することにした。

2. 商工業の振興について現状及び課題

開成町の商工業の現状は、消費者ニーズの多様化等を背景に、町内の多くの消費者が大型店での購入をしており、そのため町内の小規模商店では売上額が年々減少している。その反映として、経済センサスからも推察されたとおり、開成町商工振興会の会員数は平成 17 年に 255 件だったのに対し 10 年後の平成 27 年には 190 件 (-26%) となり 65 件も減少している。また飲食店組合の会員数は、平成 15 年には 84 件であったが平成 27 年には、53 件 (-37%) となり 31 件の減少である。

本委員会は、平成 26 年より事業者への伴走型支援を行っている足柄上商工会へ伺い、開成町や近隣の市町の商工振興策について説明を受けた。その結果、足柄上地域では経営革新の姿が見えていない事や町内では、加工施設がない等の現状と今後の課題を把握することができた。また、町の担当者からは開成町ブランド認定制度や農商工連携事業の活用による特産品開発のビジョン、起業支援の制度等について説明を受けた。

その後、本委員会は平成 28 年 8 月から平成 28 年 10 月末の間に開成町商工振興会の一部店主及び責任者等と座談会を開催し現況などについて聞き取りを行った。商工業者の努力としては、業種ごとに違いはあるが昔ながらの人脈や横のつながりを使って、販路の拡大に奮闘されており、特に解決が迫られている共通の課題等鮮明になった。



商工振興会との座談会の様子

～見えてきた課題～

- ・町内への大型店舗及び飲食チェーン店が参入したことにより、小売店が年々減少傾向にあり、後継者が育ちにくいこと。
- ・商工業振興に向けた町の IT(ホームページ等)の活用が不十分であること。

- ・町内で、第 6 次産業化における加工施設がないため、町内で採れた農産物等を商品に加工することができないこと。
- ・広域連携による商品開発や販路の拡大等に向けた支援が必要であること。

町に提言！

- ・本町における商工業振興については、IT(ホームページ等)の活用に向け、民間活力の導入を推進されたい。
- ・町のイベントには商工業者の協力が不可欠である。今後とも商工業者の協力を得られるように、補助策の再検討をされたい。
- ・町全体に人の往来を活発にするために毎週日曜日に開催されているマルシェ・かいせいの拡充や商店の活性化策の検討を図られたい。
- ・観光客の集客促進を図るため、町内の自然や

- 歴史・文化等、開成町らしい観光素材を有効活用し、広域連携による体験型観光など、観光客が求めるツアーの開発を検討されたい。
- ・町が策定した創業支援事業計画は、平成 28 年 1 月に経済産業省の認定を受けた。今後は、本事業計画で定めた創業者数の目標達成に向け相談窓口を強化し、利用促進を図られたい。
- ・本町の農業・商業・工業の振興策を図るために長期ビジョンを明確にし、産官学民が連携した組織を立ち上げ、さらに事業計画を作成されたい。

総務経済常任委員長 下山千津子

問 広域観光を推進するために他市町との連携体制の拡充を。

答 市町村での広域連携として、神奈川県を事務局とする、あしがら観光協会での広域的な観光誘致に取り組んでいる。静岡県、神奈川県と山梨県の 3 県内 38 市町村で構成する富士箱根伊豆交流圏市町村ネットワーク会議の枠組みでの広域連携を進め、隔年で開催されるサミットに参加し開成町の PR に努めている。

問 ターゲットに考えている観光客として、外国人観光客も含まれているか。

答 足柄上郡 5 町はシンガポールなど ASEAN 諸国に着目し、インバウンド獲得による地域活性化ができるか、実現の可能性を探っている。

問 外国人観光客が長時間滞在できる



井上 三史 議長

北部の農業資源を活用した交流人口の拡大を図るため、例えば、箱根町を中心とした県西地域の市町との連携の強化による着地型観光の推進は、町の活性化のための重要な取り組みである。



るぶ特別号

問 観光ルートは。

答 開成町単独でこのことについて取り組むことは難しいと考える。近隣市町や観光協会と連携して、あしがらエリアの中でできる宿泊と体験などを洗い出し、効果的なルート設定を検証した上でモデルツアーの実施につなげたい。また、あしがら観光協会や富士箱根伊豆交流圏市町村ネットワーク会議並びに広域行政事業助成金を活用し、広域連携の一環として観光ルートの確立を図りたい。

問 外国人観光客の誘致に必要なインターネット環境は。

答 開成町においては、現時点で公共施設の Wi-Fi 環境が未整備であるため、観光拠点の位置づけにより「あしがら郷瀬戸屋敷」を整備箇所として候補に挙げている。

議会日誌

2月

- 1 日 ●総務経済常任委員会
- 2 日 ●東京都西多摩郡日の出町議会視察受入
- 3 日 ●足柄上郡議長会研修会
- 4 日 ●議会報告会・意見交換会(河原町公会堂)
- 8 日 ●議会報告会・意見交換会(町民センター)
- 15 日 ●総務経済常任委員会
- 17 日 ●教育民生常任委員会
- 20 日 ●全員協議会
- 21 日 ●徳島県三好郡東みよし町議会視察受入
- 27 日 ●議会運営委員会

3月

- 7 日 ●3月定例会議(7日～17日)
- 17 日 ●議会運営委員会
- 21 日 ●全員協議会
- 24 日 ●足柄上衛生組合議会定例会
- 25 日 ●開成町戦没者慰霊祭
- 27 日 ●西部清掃組合議会定例会
- 28 日 ●広報広聴常任委員会
- 30 日 ●新庁舎に関する調査特別委員会

4月

- 6 日 ●広聴分科会
- 17 日 ●広報分科会
- 20 日 ●全員協議会



新庁舎に関する調査特別委員会 活動報告

議会では、町が進める新庁舎建設の計画について、全町的な視野に立って議論を重ね、継続的に調査研究を図るため、全議員（議長を除く）で構成する「新庁舎に関する調査特別委員会」を設置し、次のとおり調査活動を行っております。

【第10回（3月30日）】

（1）新庁舎概要・設計コンセプトの説明

北側敷地を取り込んだ庁舎計画、安全で効率的な構造計画、ZEB庁舎達成のための環境整備、平面計画、1階、2階平面配置等の説明及び平成32年度までの工程を財務課から説明を受け、その説明に対する質疑を行い、その後、委員間討議を行った。

※議会ホームページに会議録を掲載しています。



庁舎建設基本設計その2の鳥瞰イメージ
ちょうかん

新庁舎に関する調査特別委員会委員長
菊川 敬人

本町議会の「議会改革」を視察するため、2月21日に徳島県三好郡東みよし町議会が来町されました。
当日は議会改革等の流れを説明し、「議員定数検討委員会」や「日曜議会」、「議会報告会・意見交換会」など、議会全般の質問が数多くありました。

視察来町



徳島県三好郡東みよし町議会視察受入の様子

未来拠点事業を学ぶ

議員研修会

2月3日に山北町立生涯学習センターで議員研修会が行われました（主催：足柄上郡町村議会議長会）。

当日は2部構成となっており、第1部は小山町未来拠点課長遠藤正樹氏から「小山町未来拠点事業の取組みについて」、第2部では同町のまちづくり専門官溝口久氏から「小山町での新たなまちづくりの挑戦」をテーマとした講演を傾聴しました。



第1部遠藤氏の講演の様子

教育民生常任委員会所管事務調査報告（抜粋）

「開成町グリーンリサイクルセンター用地の活用について」

1. 調査の目的

開成町では、『環境に優しい町』資源循環型都市』を基本方針とし、資源を大切に使う資源循環型社会の構築に向け「みどりの資源化事業」として、開成町グリーンリサイクルセンターの運営を行っている。企業から賃借している10,260㎡の事業用地は、一部未使用となっている用地がある。この用地を効果的に活用することを目的として、現状分析をし、土地利用の可能性を検討するため調査研究を行うこととした。

2. 調査の内容

開成町グリーンリサイクルセンター用地活用について、環境防災課から3回に渡り資料提供を受け委員会への出席を求め聞き取りを行い、委員間討議を行った。

開成町グリーンリサイクルセンターの図面と土地使用貸借契約書、土地貸借契約書を確認した。その中で新たな事業展開と利用については、

用地への建造物の設置に対する制約や出入り口の改修が必要なこと、また近隣地権者との調整などの課題が見つかった。

様々な課題がある中で効果的な用地活用の可能性について更に調査を進め、金井島ストック場の移設、災害時の資材や発生したごみの置き場、新たな受け入れごみの可能性などの検討を行った。同時に開成町グリーンリサイクルセンターの管理運営に関する基本協定書と剪定枝受入量及び運営経費の確認を行った。



開成町グリーンリサイクルセンター

～検討結果のまとめ～

開成町グリーンリサイクルセンターにおいて、事業拡大や新たな事業展開を行うには施設改修など、多額の投資が必要であり、許認可などの課題も多い。

また、現在の運営状況では収支的に厳しい状況であるが特に賃借料を支払っている用地については、未使用としておくべきではないと考える。

町に意見！

・開成町グリーンリサイクルセンターの用地の活用策については、近隣地権者の理解を十分に得た中で、災害時における資材及び災害廃棄物の仮置き場として利用されるなど、未使用用地の有効活用を図りたい。

・開成町グリーンリサイクルセンター運営の安定化を図るとともに、今後の「緑の資源化事業」のあり方を広域的な観点から検討されたい。

3. 県外行政視察

平成28年11月に廃棄物のリサイクルへの取り組みを先進的に行っている、富山県富山市の「エコタウン事業」を視察した。この事業は市内に約18%の「エコタウン産業団地」を設け、現在は7ヶ所のリサイクル施設で事業を行っている。この中の2ヶ所を視察した。

難処理繊維及び混合廃プラスチックリサイクル施設では、リサイクルが困難で従来焼却処分されていた廃棄物を原料として固形燃料を製造し、廃棄物の減量と温暖化対策に貢献している。また、生ごみ及び剪定枝のリサイクル施設では、食品廃棄物をバイオガス化技術でメタンを発酵させバイオガスにより発電し、電気エネルギー

として利用するというものである。

7つの事業所のなかには採算面において苦慮している事業者もあるとのことだった。環境面では地域住民の理解を得るため、近隣住民との調整は建設時から現在においても行っているとのことであった。



エコタウンでの視察の様子
教育民生常任委員長 佐々木 昇

各種団体の皆さん 議会と懇談会をしませんか！

開成町議会では、議会に対する要望の集約や議会活動の充実とご理解を図るため、町内の各種団体の皆様との懇談会を開催しています。この懇談会は今後も随時受付いたします。開催日程、場所、懇談のテーマなどご相談させていただきますので、お気軽に議会事務局までご連絡ください。



開成町議会は、皆様の声を大切にします！
ご意見をお聞かせください！

3月定例会議 一般質問

10人の議員が一般質問を行い、活発な議論が展開されました。
質問と答弁を要約した内容は11～16ページに掲載しています。

- 山田貴弘議員 (P 11)
 - ・歩行者の安全対策に不安を感じる
- 吉田敏郎議員 (P 12)
 - ・自転車・歩行者の交通安全の取り組みと自転車走行指導帯の設置
 - ・働き方改革の一環としてのテレワーク推進、その環境整備に資するオフィス改革
- 佐々木昇議員 (P 12)
 - ・公園利用の促進と整備について問う
- 湯川洋治議員 (P 13)
 - ・開成駅東口施設「ぷらっと・かいせい」の活用状況について
 - ・開成駅前通り線の進捗状況について
- 石田史行議員 (P 13)
 - ・子育て支援の充実を問う
 - ・町民センターの利活用を問う
- 和田繁雄議員 (P 14)
 - ・町の未来に向けて時計の針をどのように動かそうとしているのかを問う
- 前田せつよ議員 (P 14)
 - ・子どもの生命を守るために防災訓練の充実と防災ヘルメットの支給
 - ・子どもの医療費支給の推進
- 星野洋一議員 (P 15)
 - ・新入学を前に通学路の安全(交通・防犯)対策について
- 下山千津子議員 (P 15)
 - ・開成町の現状と将来像を問う
- 井上三史議員 (P 16)
 - ・開成町のインバウンド(外国人観光客)対策を問う

町政を問う

桜につつまれてスタートした
新年度の学舎は、進級された生徒にとっても、見慣れた景色が違ってみえていることと思います。
景色(環境)は、それぞれの心が織りなすもの。子ども達の歓声を聴きながら、清々しい気分になりました。
さて、3月定例会議では議員10名の一般質問と、平成29年度の予算審議などが行われました。議会だよりで、活発な議論の展開などをお伝えする事は難しいものですが、今回取り組みました紙面は20ページにわたりました。

編集後記



文命中学校校庭のさくら

委員長 和田 繁雄
副委員長 井上 三史
委員 湯川 洋治
委員 前田 せつよ
委員 吉田 敏郎
委員 星野 洋一

今後も、皆様の身近な存在でありまよう努力してまいります。

多を傍聴しよう！



6月18日(日)に
日曜議会

を開催予定

6月定例会議は
6月16日(金)からです

詳しくは議会事務局まで
お気軽にお電話ください

TEL: 84-0323